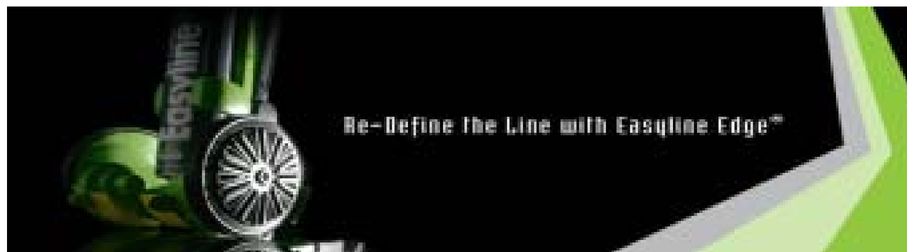



| | |
|---|---|
| 作成日 | 2009. 8. 3 |
| 改訂日 | 2009.12.18 |
| 文書番号 | QO09－A46013 |



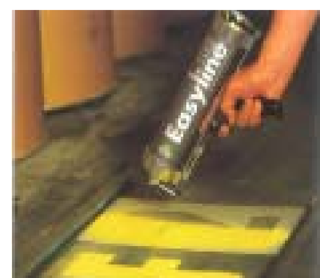

Easyline EDGE

# ハンドアプリケーター　使用説明書

**ご使用の前に本取り扱い説明書を必ずお読み下さい。**







※イージーラインエッジスプレーは、別売りとなります。

- イージーラインハンドアプリケーターは、手軽にスプレー塗装できるガンタイプのイージーラインエッジ用アプリケーターです。
- 工場、店舗や倉庫の床、駐車場、公園や運動場のマーキング及び塗装を行うのに理想的です。
- イージーラインエッジスプレーを簡単に装着でき、手軽にスプレー塗装できます。

**株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ＆フルイズ ジャパン**

●本社/西日本営業部
〒564-0053　大阪府吹田市江の木町30-32　TEL.06-6330-7118㈹　FAX.06-6330-7083
E-mail　info@itwppfjapan.com

●東日本営業部
〒144-0051　東京都大田区西蒲田7-48-3　TEL.03-3133-1311㈹　FAX.03-3733-1088
E-mail　tokyo@itwppfjapan.com

●技術サービス専用フリーダイヤル
0120-03-4880　受付時間　9：00～18：00（土日祝祭日を除く）

# 使用前の留意事項

- 本品は、有機溶剤を含みます。このため、屋内で使用する場合は、開口部を開放し、換気を行ってください。
- 塗装場所は、関係者以外立ち入らないようにご注意ください。
- 塗装後の失敗を避けるため、塗装前に目立たないところでテスト吹きにより、色、乾燥時間、接着性を確認してください。
- 本品の洗浄は、市販のラッカーシンナー等の有機溶剤が便利です。特に白色ノズル等は、漬け置きすることで次回使用する際に便利です。

- ラインを引く前に以下の道具を確認してください。

ハンドアプリケーター



ｲｰｼﾞｰﾗｲﾝｴｯｼﾞｽﾌﾟﾚｰ（別売り）



白色ノズル（スプレー缶付属品）



※その他、清掃具、ボロ布、ラッカーシンナー等

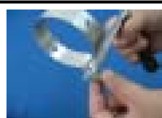
- 塗料であるイージーラインエッジは、本アプリケーターとは別売りです。指定される色調を別途ご購入ください。
- 必要に応じ、マスク、ゴーグル、手袋等をご用意ください。
- 塗装の際は、予定の塗装面積とイージーラインエッジ1本あたり（750ml缶）の塗装可能面積から必要な本数を用意してください。なお、塗装可能面積は、下地の凹凸状態及び塗布量に左右されるため、必ず、予定本数よりも1～2本多く用意しておいてください。

  0.10kg／㎡　；　7．5㎡／本

  0.15kg／㎡　；　5．0㎡／本

# イージーライン　エッジ　アプリケーターの組み立て

**1**
ケースからハンドアプリケーター取り出して下さい。
□　ハンドアプリケーター本体
□　ｲｰｼﾞｰﾗｲﾝｴｯｼﾞｽﾌﾟﾚｰ（別売り）

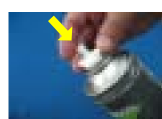
**2**


アプリケーターの後部のネジを緩めます。

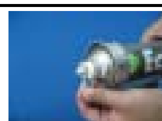
※堅い場合は、六角レンチをご用意ください。

**3**

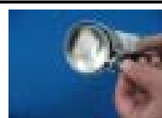

中に入っているボールがカラカラと鳴り出すまでスプレー缶を振ります。
音が鳴りだしてから、さらに1分ほど振り続けます。
※ｲｰｼﾞｰﾗｲﾝｴｯｼﾞｽﾌﾟﾚｰ（各色）は、別売りとなります。

**4**


スプレー缶に、白色ノズルを装着します。
缶の先端を自身と反対方向にまっすぐに向けて、バルブにノズルをつけます。
ノズル両端のハネを軽く押して上向きに1～2回軽くスプレーします。

**5**


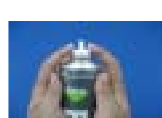
アプリケーター後部よりスプレー缶のノズル方向から装着し、アプリケーターのトリガー棒にノズルを差し込む。

**6**


後部のネジを締め、スプレー缶の底部を固定する。

**7**


下向きにした状態で、トリガーを引くことで、塗料を噴射する。
※本品は、逆さ吹き用スプレーです。上向き及び水平向きでは、塗料を噴射できません。

**8**


使用後は、ハンドアプリケーターからスプレー缶を外してください。
なお、スプレー缶は、取り外しノズルの口が塗料で詰らないように、上向きに人、物に向けずにガスのみを2～3秒間噴射させてください。

# イージーライン　エッジの塗装方法

## ※ステンシルシートを使用した例

### Step 1　下地表面の清掃



塗装面のゴミ、埃、油分、水分等の異物をほうき、ボロ布、シンナー等で除去してください。また、旧塗膜が剥がれたり、浮いたりしている場合は、その部分だけを除去してください。

### Step 2　ステンシルシート仮貼り



ステンシルシート（型抜きシート、別売り）を用意します。※市販品でも構いません。
シートは、仮張りし、スプレーの噴射圧により飛ばないようにします。
なお、ステンシルシートが小さい場合は、周囲にマスキングシートを貼り、飛沫が周囲に付着しないようにします。

### Step 3　ｲｰｼﾞｰﾗｲﾝｴｯｼﾞ の塗布

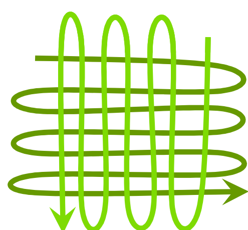


スプレーの先端から塗装面までは、150～250mm離し、均一になるようにハンドアプリケーターを前後、左右に動かしてください。
同じところに集中させると塗膜のムラとなります。薄く、数回に分けて塗装することで綺麗に仕上がります。

## 塗装のコツ

### ◆ ムラの無い塗装のために

広範囲の面に対して均一に塗布する場合、塗装面とスプレー口は、150～250mm離します。近づけすぎると部分的に塗布量が多くなるため、乾燥及び色ムラとなりますのでご注意ください。
ハンドガンは、格子状（右図参照）に動かします。一度に厚く塗装するよりも2～3回重ねて塗装するほうが綺麗に仕上がります。



### ◆ ライン色の変え方

同一ラインにて、ライン色を変える場合は、先に塗装したラインが指触乾燥したことを確認してから、別の色を塗装してください。
乾燥が不十分だと、違う色同士で交じり合い、滲むことになります。

### ◆ 線の消し方

誤って塗装してしまった場合、市販の塗料剥離剤により除去する事が可能です。
ただし、剥離剤を使用した箇所は、水洗いおよびｼﾝﾅｰ等により洗浄してください。
なお、剥離剤の使用方法については、各剥離剤ﾒｰｶｰへお問合せください。

# イージーライン トラブルシューティング

困ったときは、こちらをご参照ください。

| 現　象 | 推定原因 | 解決策 |
| --- | --- | --- |
| 塗料が出ない。 | スプレー缶内容量が不足 | 新しいスプレー缶と交換する。 |
| | アプリケーターへの装着不良 | 白ノズルをトリガー棒の輪の中に差し込む。（本書P2　№5参照） |
| | ノズルの目詰まり | 前回使用した際の噴霧カスをノズル先端から除去するか、新しい白色ノズルと交換する。使用後は、上向きにガスのみを噴射し、余分な塗料を除去する。（本書P2　№8参照） |
| | 正しくノズルを装着していない | ノズルは、白色ノズルを使用。スプレー缶に押し込み確実に装着。 |
| | スプレー缶内部の塗料が沈降 | スプレー缶は、使用前に必ず振って内部を攪拌する。攪拌ボールがカラカラと内部で音がしてから、30秒～1分間は振り続ける。 |
| 塗料が汚い。 | ノズルの目詰まり | 前回使用した際の噴霧カスをノズル先端から除去するか、新しい黄色ノズルと交換する。使用後は、上向きにガスのみを噴射し、余分な塗料を除去する。（本書P2　№8参照） |
| | スプレー缶内部の塗料が沈降 | スプレー缶は、使用前に必ず振って内部を攪拌する。攪拌ボールがカラカラと内部で音がしてから、30秒～1分間は振り続ける。 |
| 塗料が薄い。 | 塗布量の不足 | 塗布量を増やすため、薄塗りで塗装回数を増やす。ただし、一度に塗布量を増やすと逆にムラとなるため、あくまでも塗装の回数を増やす。 |
| | スプレー缶内容量が不足 | 新しいスプレー缶と交換する。 |
| 塗料が濃い。 | 塗布量の過多 | 塗装回数を減らす。または、塗装面とスプレーとの距離を開ける。ただし、周囲への飛沫が多くなるため、通常よりもマスキング面積を大きくする。 |
| 塗料の乾燥が遅い。 | 低温下環境による乾燥不良 | 屋内の場合は、内部から外部に向けて塗装面に向けて送風する。熱風は、フクレ（アバタ）が発生する可能性があり注意する。 |
| 塗料の色が白化する。 | 塗装面への結露 | 湿度の高い環境を避ける。または、塗装面付近の空気の滞留を避けるため、ライン表面に向けて送風する。このとき、屋内であれば、内部から外部に向けて送風する。 |

その他のトラブルにつきましては、技術専用フリーダイヤル（０１２０－０３－４８８０）までお問合せください。

# 使用上の注意事項

①区画線引き用途以外には使用しないでください。
②湿度が高いときは、塗装面が結露により白化する可能性があります。事前にテスト吹きにより確認してください。
③有機溶剤を含みますので、必要に応じマスク及び換気を励行してください。
④塗料は、人や車等にかからないように注意してください。
⑤本スプレーは、下向き専用です。上向きには塗装できません。
⑥塗布量は、アプリケーターの速度により変化します。（遅い；塗布量多い、速い；塗布量少ない）
⑦スプレーノズルに詰まりがあると霧化が荒くなる場合があります。
⑧スプレーノズルを装着する時は、顔を近づけたり、のぞいたりしないでください。
⑨新設コンクリートは、打設から２８日以上養生させてから塗装してください。
⑩表示の色は、実際の色と多少異なることがあります。
⑪塗り面積と乾燥時間は、塗布量及び天候に影響されるため条件の違いにより変化します。
⑫内容物の塗料を廃棄する場合は、屋外にて新聞紙及びボロ布等に染み込ませ、乾燥させた後に一般ゴミとして処分してください。
⑬空容器は、容器内のガスを全て噴射し、完全に抜き取ってから、他のゴミと区別して廃棄してください。
⑭炎や火気の近くで使用しないでください。
⑮火気を使用している室内で大量に使用しないでください。
⑯高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないでください。
⑰火の中に入れないでください。
⑱使用前に本品の製品安全データシート及び製品添付の使用説明書をよく読んで正しくご使用ください。

**株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ＆フルイズ ジャパン**

**●本社/西日本営業部**
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町30-32 TEL.06-6330-7118㈹ FAX.06-6330-7083
E-mail info@itwppfjapan.com

**●東日本営業部**
〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-48-3 TEL.03-3133-1311㈹ FAX.03-3733-1088
E-mail tokyo@itwppfjapan.com

**●技術サービス専用フリーダイヤル**
**0120-03-4880** 受付時間 9：00～18：00（土日祝祭日を除く）